

広報

SHOBARA the public information magazine

しようばら

11

2016/November
No.140

美しく輝く 里山共生都市

元気いっぱい
のこつた、
のこつた、
のこつた！



庄原市総合体育館で6年ぶりとなる地方巡業大相撲庄原場所が開催されました。取り組み前に行われたちびっこ相撲では、口北小学校の児童が力士に一生懸命ぶつかっていました。(撮影日：10月26日)



すざわ しんいち
須澤 進一さん(上谷町)

上谷町出身。28歳。市外で会社員を経験したが農業に興味をわき、農業技術大学で学んだ。卒業後は県内の農業法人などで経験を積み、現在は上谷町の是本農園で働く。父と2人暮らし。来春、実家でホウレンソウ農家として独立することを目指す。彼女募集中。



鎌でホウレンソウの根を切り収穫していく



農園での作業の全てが身になる日々

しょうばら びと

庄原市内の
かがやくひとを
紹介します

vol.17

未来を描いていく

「都会には物は揃っていても大切なものは何もない。自然の中にこそあるのではないか」。都会の生活の中でそう感じていた須澤さんは、人が生きるために欠かせない農作物を自然の中で苦勞して作るという仕事にやりがいを感じ、農業を志すことに決めました。24歳から広島県立農業技術大学で学び、卒業後は竹原市や呉市の農業法人などで経験を積みました。本年4月に帰郷し、実家と同じ上谷町の是本農園で働きながらホウレンソウ作りを学んでいます。

目標を実現するために

現在、須澤さんは独立に向けて農業経営の計画書を作成中で、来年4月から実家のホウレンソウ畑の規模を拡大する予定です。5年後には安定収入が得られるようにすることが目標です。

「農業でも他の職業でも、ある程度継続して取り組むことが大事です。理想と現実の違いがありますが、ぶれることをぐつとこらえてやり続けることで理想に近づけると思います。独立しても周りの人々への感謝を忘れずやっていきたい」と語る須澤さん。一歩一歩、着実に前に進んでいます。

大変だからこそそのやりがい

米や葉物野菜などを作る農家に生まれ育った須澤さん。小さい頃は農業にほとんど興味がなく、高校卒業後は大阪や東京などで働いていました。しかし、実家に帰り、父が農業をする姿を見てその大変さやしんどさに気づき、気持ちに変化が表れました。

「都会には物は揃っていても大切なものは何もない。自然の中にこそあるのではないか」。都会の生活の中でそう感じていた須澤さんは、人が生きるために欠かせない農作物を自然の中で苦勞して作るという仕事にやりがいを感じ、農業を志すことに決めました。24歳から広島県立農業技術大学で学び、卒業後は竹原市や呉市の農業法人などで経験を積みました。本年4月に帰郷し、実家と同じ上谷町の是本農園で働きながらホウレンソウ作りを学んでいます。



●東城柔道スポーツ少年団 東城柔道教室

東城柔道スポーツ少年団東城柔道教室は、昭和55年の創設以来、36年の歴史のある柔道道場です。これまで多くの生徒が学び巣立っていきましたが、指導方針として一貫していることは「あきらめずに卒業まで柔道を続けること」です。生徒や卒業生たちはここで学んだことを胸に、現在も学校や社会で頑張っています。生徒数が少なくなり、思ったように練習や試合ができないこともありますが、今後もこの道場で何か大切なことを学んでいく子どもたちの手助けをしていければと思っています。

練習は東城ふれあい村(東城町粟田)で行っています。生徒は随時募集していますので、柔道に興味のある方はご連絡ください。社会人の練習生も大歓迎です。

【連絡先】
代表 吉岡慎二
☎090-8247-5792



まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します!

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



メイプルハウス

活動 学生による空き家の有効活用

内容 私たちメイプルハウスは、空き家を有効活用し、市民の方と学生の交流の場づくりを目的として設立した団体で、県立広島大学庄原キャンパスの学生13人が所属しています。

現在、庄原青年会議所などと協力して、板橋町にある空き家の改修に取り組んでいます。その空き家で、市内の食材を使った料理を提供する食堂を11月12日(土)限定で開設します。店内には市内各地で行われるイベント情報も掲示します。皆様のご来店をお待ちしています!

とき 11月12日(土) 11時~15時
ところ 板橋町 ※詳しい場所はお問い合わせください。
食事代 800円

【問い合わせ】
代表 近藤 裕祐 ☎080-4551-9941

市民活動団体登録をしませんか?

市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、企画振興課自治振興係 (☎0824-73-1209)まで。

- 2 市民のページ
- 4 おかえりなさい金藤理絵選手
- 8 平成27年度決算
- 11 平成28年度上半期予算執行状況
- 12 ご存知ですか民生委員・児童委員
- 14 光エリア拡大中!
- 15 知っていますか?介護休業制度
- 16 児童虐待防止推進月間
- 17 女性に対する暴力をなくす運動期間
- 18 「比婆山学」始動!
- 19 税を考える週間
- 20 学力調査結果
- 21 母子保健だより
／安心安全な毎日のために
- 22 健康広場
- 23 市政トピックス
- 26 カメラレポート
- 28 お知らせ

なごみま★ ロショット



戸とだ 健雄くん(板橋町)
H26年6月13日生まれ
父母より：夏野菜を収穫するのも食べるのも大好き!元気に大きくなっています。

お子さんの写真を載せてみませんか?

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真(データも可)に、名前(ふりがな)・生年月日・性別・連絡先・子どもへのメッセージを添えて、行政管理課または支所広報担当まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。



司会の西田篤史さん 金藤理絵選手 木山耕三市長



おかえりなさい 金藤理絵選手

リオデジャネイロオリンピック競泳女子200メートル平泳ぎで金メダルを獲得した、山内町出身の金藤理絵選手 (Takeda) が10月15日に庄原市に凱旋しました。

●祝賀パレード

金藤選手はパレードを前に市役所を訪れ、木山耕三市長にリオデジャネイロオリンピックでのエピソードなどを報告しました。市役所前市民ひろばの特設ステージでは、金藤選手の登場に大勢の市民から大歓声が沸き起こりました。

庄原市ふるさと大使の西田篤史さん

の司会によるパレードオープニングセレモニーが行われた後、オープンカーでパレードが開催されました。パレードは金藤選手の同級生たちの掲げる横断幕と庄原中学校吹奏楽部による音楽隊を先導に、市民ひろばから庄原小学校前交差点まで行われました。コース沿道には、子どもからお年寄りまで約8千人が並び、金藤選手に声援を送り祝福しました。



同級生の市職員が先導



木山耕三市長を表敬訪問



木山耕三市長から記念品を手渡した

郷土の誇りとして 市民栄誉賞を授与

庄原市市民栄誉賞は、平成20年度に創設し、社会福祉の向上や経済の発展、学術・スポーツ・文学などの振興に貢献し、郷土の誇りとする人を顕彰しています。

庄原市市民栄誉賞受賞者（敬称略）

金藤理絵

昭和63年9月生まれ 山内町出身 28歳

所属 Jaked Elite Team

出身校

庄原市立山内小学校

庄原市立庄原中学校

広島県立三次高等学校

東海大学

東海大学大学院

主な大会成績（200メートル平泳ぎ）

2008年 北京オリンピック 7位

2013年 日本選手権水泳競技大会 優勝

2014年 アジア大会（韓国・仁川） 2位

2015年 世界水泳選手権（ロシア） 6位

2016年 日本選手権水泳競技大会 優勝

2016年 リオデジャネイロオリンピック 金メダル



金藤理絵

●市民栄誉賞授与式と金メダル報告会
会場を庄原市民会館に移し、庄原市市民栄誉賞授与式を行いました。
金藤選手は、小学生時代から水泳で群を抜く実力を発揮し、進学のため庄原を離れた後も、自身の並々ならぬ努力の末、オリンピックの舞台で金メダルの栄誉に輝かれました。授与式で木山耕三市長は「金藤選手の活躍される姿を見て、庄原市民は元氣と感動を与えてもらったと思っています。そのことに感謝の意を表したい、祝福したいという市民の気持ちが、庄原市市民栄誉賞になりました」と挨拶し、栄誉をたたえました。
続いて山内自治振興区、庄原市体育協会、市から記念品や花束が贈られた後、金藤選手は来場者に応援に対するお礼とリオデジャネイロオリンピックでの活躍などについて報告をしました。金藤選手は「1歩がなかなか踏み出せず、その場での足踏みになっていると思っていました。気付いたら少しずつ前進して、気付かないうちに金メダルまで歩いて来れていました」と、決して楽ではなかった金メダルまでの歩みについて話しました。報告が終わると、母校の山内小学校の児童が校歌と「U&I」を合唱し、金藤選手を祝福しました。また、西田篤史さんとのトークショーでは、お互いにかつて生活した庄原のことやリオデジャネイロオリンピックのことなどをテーマに会場を楽しませました。
報告会終了後に行われた記者会見で、金藤選手は「どんなにきつくても足踏みをするこゝだけはやめずにやり続けてほしい」と経験を言葉にし、子どもたちに送りました。



庄原中学校吹奏楽部がオープンカーの前を行進

決算

一般会計 歳入

自主財源割合が前年度の20.4%から20.0%とほぼ横ばいで、地方交付税をはじめとする依存財源に頼らざるを得ない財政状況となっています。

※()は前年度比

合併算定替による交付税額の縮減 地方交付税

普通交付税はこれまで合併前の旧市町ごとに算定される額の合算額を下回らないように交付されてきましたが、合併から10年を経過し段階的な縮減が開始された影響などから、前年度より5億3,156万円の大減となりました。

市税の減 市税

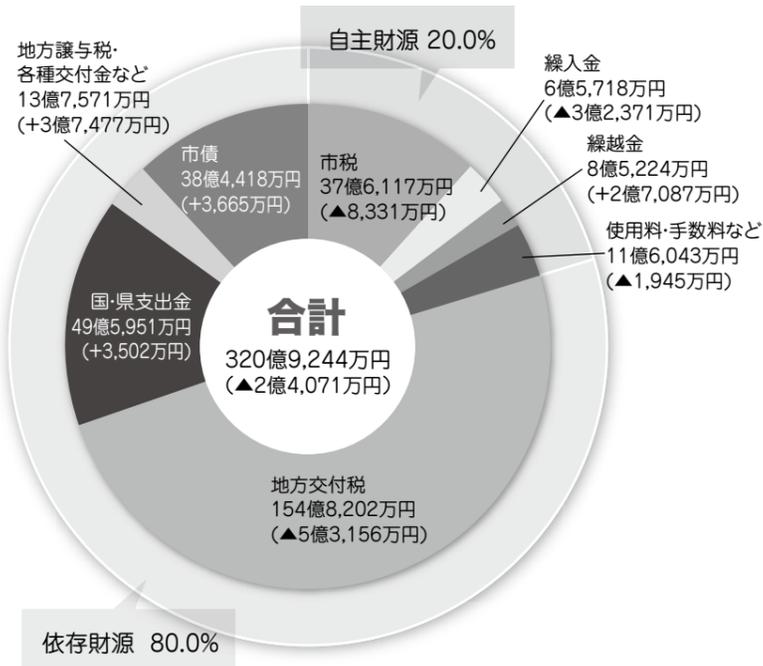
所得にかかる個人市民税が3,199万円の減、法人市民税が563万円の減となったことにより、市民税全体で3,762万円の減となりました。また、固定資産税やたばこ税の減を含めて、市税全体で8,331万円の減となりました。

消費税の改定による増 地方譲与税・各種交付金など

消費税率の引き上げによる増収分が配分された地方消費税交付金が3億1,804万円の増となったことにより、地方譲与税・各種交付金などが大幅な増となりました。

前年度からの繰越事業 繰越金

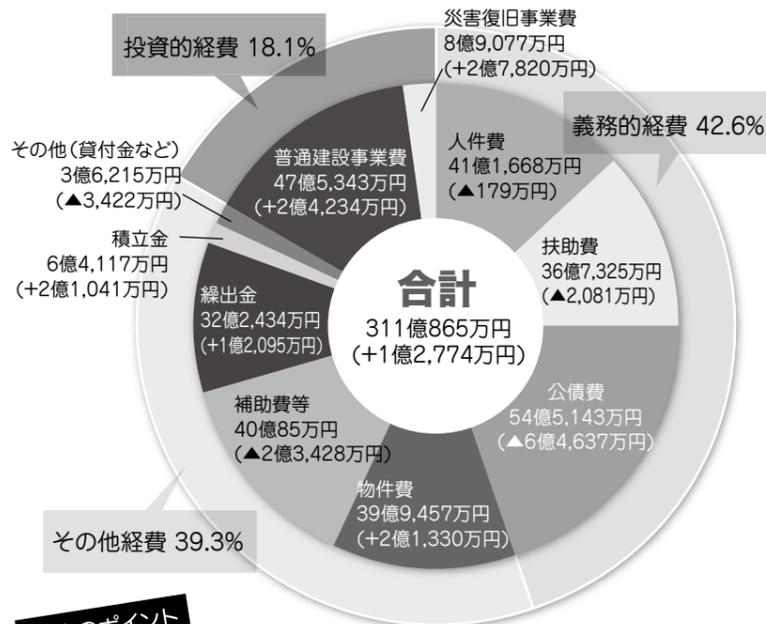
主に前年度から繰り越して行う事業の実施のための財源となる繰越金が増えたことにより2億7,087万円の増となりました。



一般会計 歳出

財政健全化に向けた取り組みを進める中、「庄原いちばん基本計画」に基づく事業や、市民生活に直結した各事業を行いました。

※()は前年度比



歳出のポイント

ソフト事業では、事業所内保育の市認可などによる保育の充実、高齢者および障害者の生活支援の拡充、比婆牛ブランドの展開に取り組み、ハード事業では超高速情報通信網整備事業、JR備後庄原駅周辺地区のまちづくりや庄原小学校改築工事などの各種事業を計画的に実施しました。

計画的な市債の借り入れの成果 公債費

計画的な市債の借り入れや、額の大きい市債の償還完了により、公債費が前年度より6億4,637万円の大幅減となりました。

マイナンバー制度への対応など 物件費

昨年度から施行されたマイナンバー制度に対応したシステムの整備により行政情報処理推進事業が9,100万円の増となり、その他防災対策事業などの増を含めて、物件費全体で2億1,330万円の増となりました。

超高速情報通信網整備事業の本格実施 普通建設事業

市内全域に光ケーブルを敷設すると共に、この光ケーブルを活用した住民告知端末整備などを行うための超高速情報通信網整備事業が実施2年目を迎え、庄原地域の一部および東城地域の一部では、住民告知放送を開始しました。この超高速情報通信網整備事業を含めて、普通建設事業全体で2億4,234万円の増となりました。

市の平成27年度各会計決算がまとめ、市議会9月定例会で認定されました。福祉、教育、まちづくりなど市民の皆さんの生活にかかわりの深い事業を行う一般会計の決算状況を中心に、市に昨年度どういった収入があり、どのような目的に使われたのかをお知らせします。

財政課 財政係 ☎0824-73-1129

※金額は万円未満を四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも一致しません。

各会計の決算状況

平成27年度の各会計の歳入・歳出などの決算額を一覧にしています。

会計名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	形式収支 C=A-B	繰越財源 D	実質収支 E=C-D
一般会計	320億9,244万円	311億865万円	9億8,379万円	6,335万円	9億2,044万円
住宅資金特別会計	552万円	543万円	9万円		9万円
歯科診療所特別会計	2,277万円	2,241万円	36万円		36万円
休日診療センター特別会計	1,227万円	1,227万円	0万円		0万円
国民健康保険特別会計	48億9,925万円	48億9,278万円	647万円		647万円
国民健康保険特別会計(直診勘定)	9,340万円	9,325万円	15万円		15万円
後期高齢者医療特別会計	5億9,764万円	5億9,661万円	103万円		103万円
介護保険特別会計	62億9,905万円	61億5,923万円	1億3,983万円		1億3,983万円
介護保険サービス事業特別会計	4,146万円	4,146万円	0万円		0万円
公共下水道事業特別会計	8億5,594万円	8億5,377万円	217万円	70万円	147万円
農業集落排水事業特別会計	3億7,931万円	3億7,857万円	75万円		75万円
浄化槽整備事業特別会計	2億254万円	2億163万円	92万円		92万円
簡易水道事業特別会計	3億2,089万円	3億1,499万円	591万円		591万円
工業団地造成事業特別会計	1,163万円	1,099万円	65万円		65万円
宅地造成事業特別会計	8万円	8万円	0万円		0万円

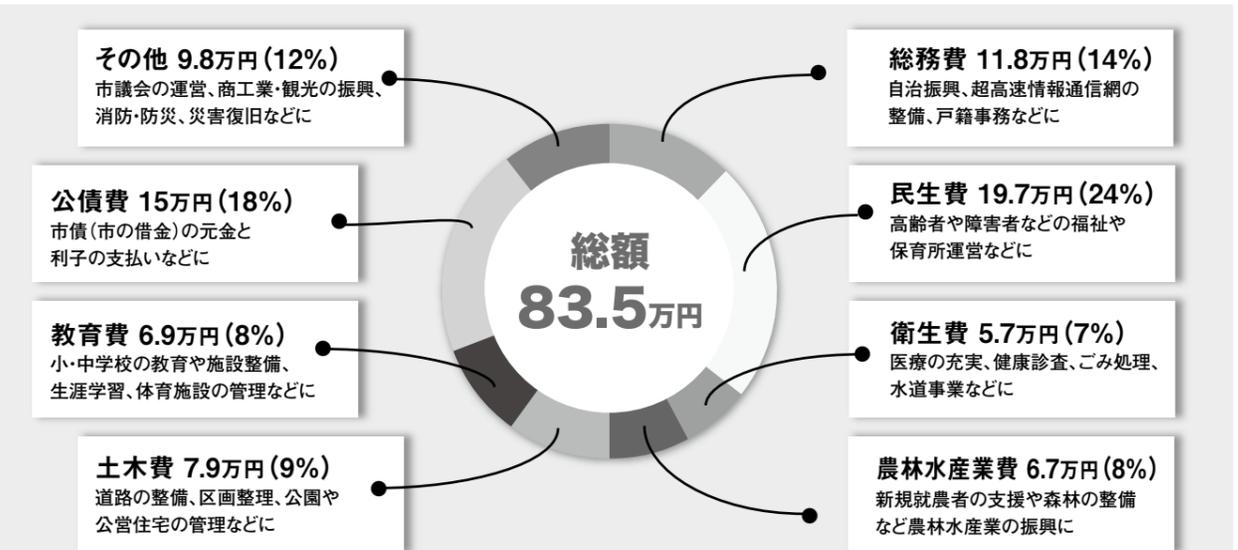
※一般会計の実質収支(黒字となったお金)のうち、5億円は財政調整基金(貯金)へ積み立て、残り4億2,044万円を平成28年度に繰り越しました。

会計名	収益	費用	特別利益	特別損失	当年度純利益 (▲損失)
水道事業	8億403万円	7億6,043万円	1,432万円	0万円	5,791万円
病院事業	13億1,528万円	12億6,240万円	0万円	0万円	5,288万円

市民一人当たりの決算額

暮らしのどこにお金が使われたのか、一般会計の歳出決算額を市民一人当たり(平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口37,240人)に換算してみると…

(平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口37,240人)



※()は総額に対する割合

市債・基金 残高

計画的な借入れや繰上償還を行い、市債残高は年々着実に減少しています。また、新たな基金の取り崩しを抑えたことにより、積立金が取り崩し額を上回ったことで、基金の現在高が増加しています。

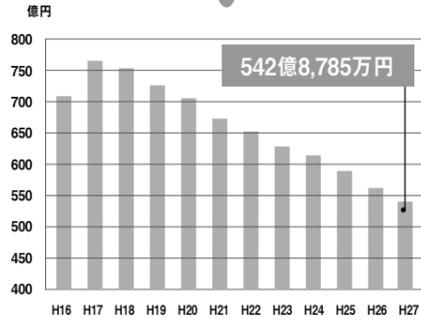
市債残高状況

会計名	平成27年度末残高	前年度からの増減額
一般会計	395億6,801万円	▲13億1,956万円
住宅資金特別会計	1,123万円	▲419万円
公共下水道事業特別会計	56億4,905万円	▲2億5,373万円
農業集落排水事業特別会計	32億9,555万円	▲1億6,214万円
浄化槽整備事業特別会計	4億3,319万円	4,761万円
簡易水道事業特別会計	18億5,752万円	▲1億2,505万円
水道事業	30億8,252万円	▲2億1,761万円
病院事業	3億9,079万円	▲4,040万円
市債残高合計	542億8,785万円	▲20億7,508万円

基金残高状況

基金名	平成27年度末残高	前年度からの増減額
財政調整基金	36億7,748万円	2億6,264万円
減債基金	225万円	0万円
地域振興基金	37億8,825万円	100万円
過疎地域自立促進基金	5億8,140万円	1億7,140万円
国民健康保険財政調整基金	2億2,999万円	▲1億6,496万円
その他の基金	6億974万円	▲934万円
基金残高合計	88億8,912万円	2億6,074万円

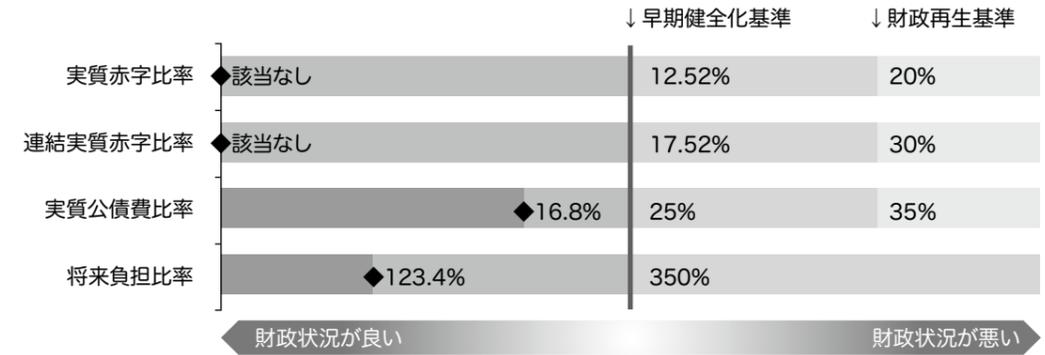
市債残高の推移[全会計]



(平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口37,240人)

健全化判断比率

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための「健全化判断比率」として実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標があります。庄原市の財政状況を4つの指標でみてみると…



実質赤字比率

福祉、教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す指標です。庄原市は黒字のため該当ありませんでした。

実質公債費比率

借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標です。庄原市は、16.8%と早期健全化基準内の指標となっており、新たな市債の借入れにおいて県の許可が必要となる18%を下回りました。

連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての財政運営の悪化の度合いを示す指標です。庄原市は黒字のため該当ありませんでした。

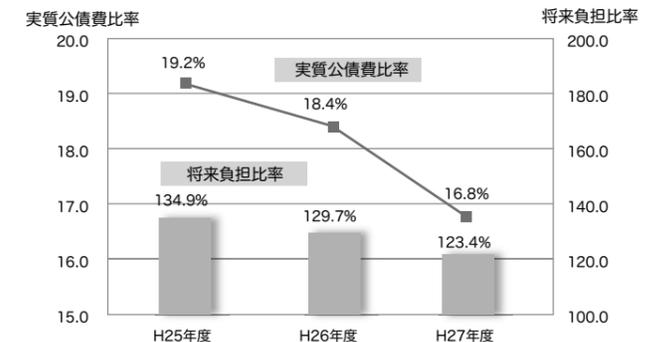
将来負担比率

地方公共団体の一般会計などの借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。庄原市は123.4%と早期健全化基準内の指標となっています。

健全化判断比率の推移

実質公債費比率および将来負担比率は、公債費負担適正化計画などに基づくこれまでの財政健全化の取り組みが着実に成果を示し、主に市債残高および償還額の減少により毎年改善しています。平成27年度決算では、実質公債費比率が前年度比1.6%、将来負担比率は前年度比6.3%の健全化が図られました。

今後も、計画的な市債の発行などにより財政の健全化に努めます。



※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、黒字のため該当ありません。

資金不足比率

公営企業の資金収支の累積不足額を表すもので、庄原市ではすべての公営企業で該当ありませんでした。



※庄原市で対象となる公営企業は、水道事業、病院事業、公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽整備事業、簡易水道事業、宅地造成事業、工業団地造成事業です。

平成28年度上半期 予算の執行状況

市は、毎年財政状況を公表し、予算の執行がどのような状況になっているのかをお知らせしています。今回は、平成28年度予算の9月30日現在の執行状況をお知らせします。

一般会計・特別会計・公営企業会計の収支状況

区分	予算額	収入済額と収入率	支出済額と執行率
一般会計	313億1,714万円	143億6,038万円 45.9%	110億3,544万円 35.2%
特別会計 合計	140億6,948万円	48億1,754万円 34.2%	55億5,473万円 39.5%
国民健康保険	47億1,134万円	16億5,721万円 35.2%	19億9,666万円 42.4%
介護保険	63億5,005万円	26億5,299万円 41.8%	25億4,965万円 40.2%
公共下水道事業	10億220万円	1億4,217万円 14.2%	3億3,105万円 33.0%
簡易水道事業	3億1,528万円	5,737万円 18.2%	1億1,287万円 35.8%
その他	16億9,061万円	3億781万円 18.2%	5億6,451万円 33.4%
水道事業			
収益的収支	収入 8億8,232万円	4億202万円 45.6%	
支出	8億5,333万円		3億3,402万円 39.1%
資本的収支	収入 7億3,061万円	1億972万円 15.0%	
支出	9億9,906万円		1億3,326万円 13.3%
病院事業			
収益的収支	収入 13億1,003万円	7億893万円 54.1%	
支出	13億845万円		5億5,006万円 42.0%
資本的収支	収入 3,463万円	3,411万円 98.5%	
支出	5,623万円		2,016万円 35.8%

税の収入状況(一般会計・国民健康保険特別会計)

区分	予算額	収入済額	収入率
地方税	37億6,390万円	23億4,773万円	62.4%
国民健康保険税	7億1,145万円	2億5,208万円	35.4%

市債残高

市債	残高
市債	515億4,606万円
一般会計	372億3,735万円
特別会計	109億5,158万円
企業会計	33億5,713万円

ご存知ですか 民生委員・児童委員

社会福祉課生活福祉係 ☎0824・73・1166



私たちは、皆さんのさまざまな相談に応じる身近な「相談相手」です。そして適切な関係機関への「つなぎ役」でもあります。本市では10の地区に分かれてそれぞれ特色のある活動を行っています。今回はその一部を、各地区の委員からのレポート形式で紹介します。



庄原地区



活動の中で「地域での人と人との絆が希薄化し、家族や地域社会とのつながりが弱体化し、さまざまな複合的な生活課題を抱えている世帯」への思いは委員共通の課題でした。地域のつながりの実態を把握し、今後の活動に生かすため、庄原地区の世帯主が20歳以上の全世帯から無作為に300世帯を抽出し、アンケート調査を実施しました。このアンケートは自記式と聞き取りを併用し、私たちが訪問して回収しました。地域社会の変化や生活環境の多様化の中で、必ずしも互助を必要としない人もいますが、地域のつながりをどのように再生するかが今後の課題となりました。

高・北地区



私たちは、自治振興区事業「花を贈る活動」の手伝いをしています。この事業は、春と秋の年2回、自治会長、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員、菊友会の皆さんと、高小学校1・2年生の児童の協力を得て、一人暮らしのお年寄りの元に季節の花を届けています。この事業は、公民館時代から継続されています。

本田・敷信地区



敷信地区では、自治振興区、老人会などと一緒、敷信まるごと事業を実施しています。年間を通じて美化運動、青大豆栽培などを協働して行っています。今回は、その中で板橋小学校の児童と行った世代間交流事業について紹介

します。小学校が夏休みの際に、板橋町にある「学びの森」で実施しました。ことは児童も合わせ、参加者が100人となりました。年々参加者が増えてきています。参加者は、昔の遊びや道具作りをして楽しみました。昼にはみんなで作ったカレーを食べるなどし、世代を超えて地域のつながりを深めました。

東・山内地区



高齢化に伴う課題が次々と現れる中、高齢者が地域で安心して暮らせる仕組み作りが問われています。山内地区では、高齢者の見守りと災害時の避難支援を目的に「山内おたがいさまネット」を5年前に立ち上げました。現在、自治会長を中心に民生委員、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員、老人会員などが協議して、地域の実情に沿った取り組みをしています。私たちは「地域に根ざした思いやり」をモットーに、さまざまな生活課題に向き合っています。こうした地域の方々との連携は欠かせないものとなっています。

西城地区



さまざまな問題が複雑多様なサービスのほごまにある問題を、日々受け止めていくのが私たちの仕事で、あると考えると、移り変わりが早くなっています。また、高齢者世帯が増える中、高齢者の皆さんが安心して自分らしく暮らせるよう、メンタル面のケアに力を入れています。

全体研修会では、団体向けの介護講座で高齢者疑似体験を学んだり、また、介護保険制度の見直しによる地域包括ケアシステムの構築、「新しい総合事業」への移行について研修し、移行後の役割や関わり方について話し合いました。



定例会では、自治振興区の役員の皆さんから、それぞれの地域での取り組みや高齢者に対する活動などについて報告を受け、私たちの活動内容や取り組みについての報告や意見交換を行い、各自治振興区との連携や相互の理解が深まりました。

口和地区

8月4日に開催された「小学生ふれあいスポーツ教室」に、連携団体の一つとして参加しました。このスポーツ教室は、庄原市身体障害者



連合会の指導および協力のもと、口和地区の2校の小学生や地域住民などの参加により、学校間や世代間の交流を図るとともに、障害者スポーツへの理解を深めることを目的として開催されています。今回は、市内各地から身体障害者連合会員も参加し、一層交流の輪が広がりをみせました。これからも、委員活動が児童生徒の健やかな成長の一助になればと願っています。

高野地区



9月13日・14日の2日間、庄原市社会福祉協議会、市合同で災害時の避難行動要支援者避難所体験宿泊訓練を実施しました。避難準備情報発令を想定し、支援協力者が要支援者7人を車で緊急避難場所の高野保健福祉センターまで避難させました。避難後には庄原消防署の消防士を招き、学習会を行い、災害時の課題などについて意見交換をしたりして日頃から災害に対する心構えの大切さを学びました。その夜、参加者は同センターに宿泊

比和地区



毎年、比和小学校の児童を対象に、「比和つ子田植」を実施しています。この取り組みは、子どもから高齢者まで楽しく「食」を学び、世代を超え地域ぐるみで地産地消の運動や、健全な食生活を推進することを目的としています。本年度も、地域から水田を借り、比和小学校5・6年生の児童が田植えを行いました。この田植えには、比和山老人クラブと比和町郷土芸能振興会の応援もありました。現在は児童が稲刈りを済ませ、学校の鉄棒での乾燥を経て、餅米になっていることでしょうか。

東城地区

今期（平成25年～28年）は、全体研修会と東城地域の7カ所の自治振興区を会場に定例会を行いました。

安心して住み続けることができる地域づくりを目指して、それぞれが担当する地域内を定期的に巡回しています。

毎月開催する定例会では、各自の活動報告、意見交換、講師を招いての研修会などを行っています。



また、自治振興区、社会福祉法人優輝福祉会、庄原市社会福祉協議会、総領診療所などと連携し、地域包括ケアシステムを構築するため、定期的なケア会議への参画などを行っています。



民生委員制度は、平成29年に制度創設100周年を迎えます。多くの先達の思いを引き継ぎつつ、多様化する地域住民の課題にこれからも向き合っています。

知っていますか？ 介護休業に関する制度

育児・介護休業法の改正により、平成29年1月1日から、これらの制度がさらに利用しやすくなります。



地域包括支援課 ☎0824-73-1279

現在、高齢者人口の増加とともに介護を必要とする方も増加しています。総務省の「平成24年度就業構造基本調査」によると、家族の介護・看護のために離職した人は、平成23年10月～平成24年9月で10・1万人となっています。

「育児・介護休業法」では、育児や介護を行う労働者に対し、育児休業・介護休業制度のほか、時間外労働や深夜労働の制限、勤務時間の短縮や転勤などへの配慮、不利益な取り扱いの禁止などが定められています。

家族に介護が必要となったとき、仕事と介護を両立できるようにするための介護休業・介護休暇制度について、紹介します。

光エリア拡大中！

管財課情報政策係
行政管理課広報統計係
☎0824-73-1113
☎0824-73-1159

**初期費用※
無料期限を
延長します！**



市は、防災情報や行政情報を音声により市民の方に伝えるため、住民告知放送を行っているため、この放送を聞くための住民告知端末を設置していただくため、住民告知端末および光電話や光インターネット設置の初期費用（2万2800円）の市負担期限を、各整備エリアでのサービス開始から1年までとしました。

庄原の都市計画区域では昨年10月21日から、東城の都市計画区域では昨年11月21日からサービスが開始され、本年度1年が経過することになります。

しかし、まだ未加入の世帯もあり、市では防災情報などを多くの市民の方に伝える必要があるため、市の初期費用負担期限を延長することとしました。

市の負担期限は、住民告知放送のサービスが市内全域で開始した日から1年を経過する日（平成31年10月上旬の予定）までとします。

※初期費用…住民告知端末の設置および設定にかかる費用。

光エリア拡大中！

平成29年度整備エリア	サービス開始予定時期
【西城電話交換所管内】 西城地域全域	平成29年4月
【八針電話交換所管内】 八針地域全域	平成29年5月
【庄原電話交換所管内（都市計画区域外）】（平成27・28年度整備地域を除く） 宮内町、永末町、大久保町、高町、川西町、小用町、実留町、新庄町、是松町、高門町、川北町、濁川町、門田町	平成29年8月
【庄原赤川電話交換所管内】 本村町、上谷町、峰田町、春田町	平成29年9月

※上記以外に平成30年度整備エリアにおいて、設計のため調査に入る場合があります。

光ファイバー回線整備の幹線工事を行っています

昨年度から平成30年度にかけて、NTT西日本（株）が整備事業者となっており、光ファイバー回線によるサービス開始予定の地域で、光ファイバー回線の設計業務・回線工事を行っています。平成29年度の整備エリアは上の表の通りです。

このため、左記のNTT西日本（株）の工事業者が現地に入るとともに、住民の方のお宅に訪問または電話連絡することがあります。近隣住民の方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

NTT西日本（株）の工事業者名
株式会社NTT西日本
（庄原事務所）☎0824-72-8470

※工事作業員は、「庄原市超高速情報通信網整備工事従事者」という白い腕章を着用しています。



介護休業制度とは

介護休業制度とは、労働者（日々雇用される人を除く）が、常に介護を必要とする状態（※）の家族を介護するために、一定期間まとめて休みを取得できる制度で、93日間の取得が可能です。

この期間は、自分で介護をするだけでなく、介護サービス利用の手続きをするなど、介護をしながら仕事を続けるための準備期間としても活用できます。

介護休業を取得する場合は、事業主に申し出る必要があります。

※「常に介護を必要とする状態」とは、病気やケガ、身体または精神の障害などにより、2週間以上の期間にわたって常に介護が必要な状態をいいます。

介護休業期間中の収入

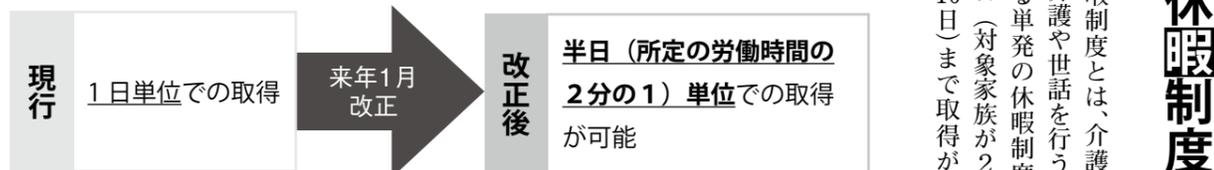
介護休業を取得した場合、労働者は労務を提供しないため、事業主には給与を支払う義務は無く、原則として無給です。

ただし、雇用保険の被保険者が介護休業を取得した場合、一定の要件を満たせば、休業前の賃金の67%が「介護休業給付金」として支給されます。

【主な改正点】 介護休業が分割取得できるようになります



【主な改正点】 介護休暇の取得単位が柔軟化されます



介護休暇制度とは

介護休暇制度とは、介護が必要な家族の介護や世話をを行うために取得できる単発の休暇制度です。1年に5日（対象家族が2人以上の場合は10日）まで取得が可能です。



厚生労働省
パンフレット

育児・介護休業法その他の改正内容については、厚生労働省のホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/>）をご覧ください。

なお、介護休業などの手続きについては、勤務先へご相談ください。

問い合わせ 地域包括支援課地域包括支援係 ☎0824-73-1279

11月12～25日は 女性に対する暴力をなくす 運動期間です

11月は 児童虐待防止推進月間です ～オレンジリボンキャンペーン～



もしかして虐待かも…

児童虐待とは

本来、子どもを守るべき保護者(親や親に代わる養育者)が子どもの体や心を傷つけることを児童虐待といえます。児童虐待は大きく4つに分類されますが、これらが重複して起こっていることが少なくありません。



【身体的虐待】

殴る、蹴る、激しく揺さぶるなど暴力をふるう・火傷をさせる・戸外に閉め出すなど

【心理的虐待】

子どもの心を傷つけることを言う。無視したり拒否的な態度をとる。ほかのきょうだいと著しく差別する。子どもの目の前で配偶者などに暴力をふるうなど

【ネグレクト】

十分な食事を与えない・体や環境を不潔なままにする・病気になっても病院に連れて行かない・子どもを車や家に残したまま外出する・家に閉じ込めるなど

【性的虐待】

性的ないたずらをする・性的関係を強要する・性器や性交を見せる・児童ポルノの被写体にするなど

虐待かもと思ったら

心配なこと、気付いたことなどがある場合には、児童相談所全国共通ダイヤル189(いちはやく)などにお知らせください(通告)。通告をした人のプライバシーは絶対に守られます。

いち はやく
189

※一部のIP電話からはつながりません。
※通話料がかかります。



相手がいると、「怖い」と感じたり「緊張」したりしていませんか？

暴力とは

【身体的なもの】

殴ったり蹴ったりするなどといったもの

【精神的なもの】

心無い言動などにより、相手の心を傷つけるもの

【性的なもの】

嫌がっているのに性的行為を強要する、中絶を強要する、避妊に協力しないといったもの

※たとえ配偶者間で行われたとしても処罰の対象になることもあります。



被害者に与える影響

被害者は暴力により、ケガなどの身体的な影響を受けるにとどまらず、PTSD (post-traumatic stress disorder: 心的外傷後ストレス障害) に陥るなど、精神的な影響を受けることもあります。

過去の体験を連想させるようなことがあると、「その時」と同じような恐怖などの感情や感覚がよみがえってきて、さまざまな反応を引き起こすフラッシュバックなどの症状が現れたりします。



子どもにも与える影響

暴力を目撃したことによって、子どもにさまざまな心身の症状が表れることもあります。また、暴力を目撃しながら育った子どもは、自分が育った家庭での人間関係のパターンから、感情表現や問題解決の手段として暴力を用いることを学習することもあります。

「通告」のほかにも大切なこと

児童虐待は、孤立した子育てのなかで起こりやすいといわれています。

【子育て家庭を孤立させない】

まず笑顔を向け、声をかける。ひとりではないと感じてもらおうことが大切です。声をかけることが難しい場合は、あいさつをすることで心の支えになることもあります。

【子育てしやすい環境をつくろう】

利用しやすい、心地よい、信頼できる。そんな居場所や機関、つながりをみんなで力を合わせてつくり、増やしていくことが大切です。

問い合わせ

児童福祉課 あんしん支援係

☎0824・73・0051

家庭児童相談員専用ダイヤル

☎0824・73・1243

相談してください

相手との関係を「つらい」「何かおかしい」と感じる場合や「とりあえず逃げたい」「家族や友人の中に心配な人がいる」という場合は、一度ご相談ください。

相談機関名	電話番号	相談時間など
配偶者暴力相談支援センター	広島県西部こども家庭センター	082-254-0391 月～金 10時～17時
	広島県北部こども家庭センター	0824-63-5181 (代)内線2313 月～金 10時～17時
庄原警察署	0824-72-0110	24時間
庄原市役所(専用ダイヤル)	0824-73-1243	月～金 9時～17時

プライバシーは固く守られます。

問い合わせ(家庭児童相談員)
児童福祉課 あんしん支援係
☎0824・73・0051

「比婆山学」始動!

生涯学習課文化財係 ☎0824・73・1189

官民で進める地域資源としての活用

市と市教育委員会は、書籍「日本誕生の女神」の出版をはじめ、庄原市文化財ガイド養成講座や「日本誕生の女神」出版記念リレー講演会などの開催を通じて、「比婆山学」を浸透させるための取り組みを進めています。そうした中、比婆山・熊野神社周辺の地域資源に学び、まちづくりに生かすための、市民を中心とする新たな動きも始まっています。



「日本誕生の女神」出版記念リレー講演会第1弾(西城)で講演する藤岡大拙さん



相扶生きがい教室

生きがいづくりとしての比婆山学

10月20日と27日、社会福祉法人相扶会による「相扶生きがい教室」の約50人が、庄原市出前トークを活用し、神話の聖地比婆山の魅力や、最近の考古学で分かってきたことなどを学びました。受講者の多くが熊野神社参拝や比婆山登山の経験をもち、家族や友人と登った御陵の懐かしい景色や楽しい思い出話にも花が咲きました。

地域間連携による登山イベント

10月22日、庄原市観光協会・奥出雲観光文化協会による「第5回比婆山連峰 古事記ゆかりの地を歩く」が開催され、比婆山伝説ガイド「ツイハラの会」の案内で、小雨や幻想的な霧の中、池ノ段・御陵・烏帽子山・吾妻山を縦走しました。「毎年楽しみにしている」という松江市のリピーターなど広島県・島根県・岡山県の35人が、比婆山伝説を学びながら一緒に歩き、「来年も会いましょう」と互いに誓い合っていました。



第5回比婆山連峰 古事記ゆかりの地を歩く

「日本誕生の女神」出版記念リレー講演会

市と市教育委員会は、書籍「日本誕生の女神」の出版を記念し、市内3カ所で講演会を開催しています。第1弾(西城)は、10月10日にウイイル西城で出雲学提唱者の藤岡大拙さん(荒神谷博物館館長)による講演「出雲人が憧れた中国山地と、聖地・比婆山」を開催し、穏やかな語り口に約200人が魅了されました。続く第2弾(比和)、第3弾(庄原)の講演会は次のとおり開催します。

第2弾(比和)

「庄原市北部は古代日本文化の先進地」
講師 川島美美子さん(風土記を訪ねる会代表)
とき 11月6日(日) 13時30分～15時
ところ 比和自治振興センター

第3弾(庄原)

比婆山学フォーラム「なぜ比婆山に日本誕生の女神は眠っているのか」
講師 書籍執筆陣
とき 12月11日(日) 13時～15時
ところ 庄原市民会館

◆書籍「日本誕生の女神」好評発売中
書籍「日本誕生の女神 伊邪那美が眠る比婆の山」が、市内書店をはじめ、県内外の各書店で好評発売中です。
定価 本体1800円＋税
※庄原市役所販売分は完売しました。

毎年11月11日～17日は 税を考える週間です

～くらしを支える税～

国税庁では、国民の皆さんに租税の意義や役割、税務行政に対する知識と理解を深めていただくために、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、ホームページ(右のコードからアクセスできます)などでさまざまな情報を提供しています。



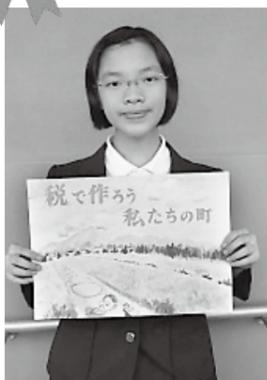
●期間中に、税に関する催しとして、ジョイフル1階で「中学生の税のポスター」、「中学生の税の作文・習字」、「小学生の税に関する絵はがきコンクール」および「小・中学生の税の標語」の作品展示を行います。ぜひご来場ください。

●税務署では、書類や事実関係を確認する必要があるなど、電話での回答が困難な場合には、電話などで事前に予約をいただいた上で相談を受けています。
☎0824-72-1001(音声ガイダンスに従い、「2」を選択してください)

税をテーマとしたポスター入賞作品

市内の中学生を対象に、平成28年度「税をテーマとしたポスター」を募集し、審査の結果、入賞作品を決定し表彰しました。その中から最優秀作品をご紹介します。

最優秀賞 森元 真紀さん(庄原中3年)



庄原といえば、豊かな自然がイメージされます。ポスターの青い空、連なる山々、広がる田んぼは庄原市を表しています。そんな私たちの町である庄原市を、税金でより良くしていきたいという思いをこめて、このポスターを制作しました。

最優秀賞 原田真日瑠さん(庄原中2年)



大切な税金で作られたものが、私たちの生活を支えてくれています。だから、今よりもっと税金で作られたものを大切にしていきたいし、今からつくられるもので社会を明るくしていきたいと思いつつ描きました。

農業収支計算の準備はお早めに

農業所得の申告は、実際の収入金額から必要経費を差し引いて所得計算する「収支計算」が原則です。「収支計算」をするためには、収入金額と経費が分かる書類が必要です。

また、領収書を残していない経費は認められないことがありますので、農業に係るこれらの書類をなくさないように整理保存しておきましょう。(月別集計表などの用紙は市役所にあります。)

記帳・帳簿等の保存制度

事業(農業)所得、不動産所得または山林所得を得ようとする業務を行う全ての方は、収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や棚卸表、請求書、領収書などの書類を保存する必要があります。

問い合わせ

税務課市民税係 ☎0824 - 73 - 1146

学力調査結果

教育指導課指導係 ☎0824・73・1184

本年度実施した、全国学力・学習状況調査および広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果は次のとおりでした。

2つの学力調査の結果を受けて、庄原市の児童生徒の学力や学習の状況をお伝えします。

表1から、全国学力・学習状況調査では数学以外は市の平均正答率が全国平均を上回っていますが、知識・技能を活用する内容のB問題の平均正答率がA問題に比べて低く、特に、算数B・数学Bはともに50%を下回り、例年の大きな課題となっています。

表2から、「基礎・基本」定着状況調査では、教科全体の平均通過率は、おおむね県平均程度か県平均を上回っています。また、基礎的・基本的な学習内容(タイプI)は、概ね定着していると考えられますが、全国学力・学習状況調査と同様に、知識・技能を活用する内容のタイプIIの通過率が、タイプIに比べて低くなっております。

全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省が行う、全国学力・学習状況調査が4月19日に実施され、小学6年生と中学3年生が参加しました。

(表1)

[小学6年生]				[中学3年生]			
教科	庄原市	広島県	全国	教科	庄原市	広島県	全国
国語A	78.3	78.4	72.9	国語A	75.6	76.6	75.6
国語B	59.4	60.5	57.8	国語B	67.9	67.9	66.5
算数A	81.8	79.7	77.6	数学A	57.2	62.1	62.2
算数B	48.4	49.5	47.2	数学B	41.9	44.8	44.1

※Aは基礎的・基本的な内容、Bは知識・技能を活用する内容
※数値は平均正答率(%)

広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果

県教育委員会が行う「基礎・基本」定着状況調査が6月7日に実施され、小学5年生と中学2年生が参加しました。

(表2)

[小学5年生]				[中学2年生]			
教科	庄原市	広島県	教科	庄原市	広島県		
国語	教科全体	65.3	63.7	教科全体	72.4	69.7	
	タイプI	68.9	68.0	タイプI	74.9	71.8	
	タイプII	42.9	36.7	タイプII	61.6	60.6	
算数	教科全体	71.4	69.4	教科全体	67.9	66.8	
	タイプI	77.6	74.9	タイプI	71.1	69.6	
	タイプII	51.9	52.0	タイプII	56.9	57.3	
理科	教科全体	65.4	60.6	教科全体	55.9	51.8	
	タイプI	74.1	68.1	タイプI	58.7	54.4	
	タイプII	49.3	46.7	タイプII	52.1	48.3	
英語	教科全体	79.5	69.6	教科全体	79.5	69.6	
	タイプI	83.1	72.6	タイプI	83.1	72.6	
	タイプII	59.4	53.0	タイプII	59.4	53.0	

※タイプIは基礎的・基本的な内容、タイプIIは知識・技能を活用する内容
※数値は平均通過率(%)

(表3)

設問	小学5年生		中学2年生	
	庄原市	広島県	庄原市	広島県
自分で勉強の計画を立てている	70.6	61.5	64.8	50.6
学校の授業の予習をするようにしている	68.1	53.2	42.9	38.6
学校の授業の復習をするようにしている	83.2	64.7	71.6	57.4
家庭で1日に1時間以上勉強している	平日 56.2	53.7	72.0	52.3
	休日 45.6	38.7	68.2	55.2
1日に3時間以上テレビを見たり、ゲームをしたりしている	平日 21.9	26.5	25.2	30.4
	休日 43.0	41.3	55.5	56.3
1カ月に6冊以上読書をしている	50.9	38.1	17.3	12.7
家庭で1週間に3時間以上読書をしている	13.3	11.8	10.0	7.5
地域や子供会の行事に参加している	84.2	67.5	74.3	49.4
自分が住んでいる地域のことが好き	93.9	90.2	85.4	81.9

表3から、自分で勉強の計画を立てたり、家庭で1日1時間以上勉強したりしている児童生徒の割合は、すべて県平均を上回っています。特に、学校の授業の復習をしている児童生徒の割合は、県平均を大きく上回っており、家庭学習習慣が定着してきています。

これまでの課題であったテレビやゲームの視聴時間は、1日3時間以上の割合が少なくなっています。小学5年生の休日についても、県平均比で昨年度より11・6ポイント改善しています。また、家庭で1週間に3時間以上読書をしている児童生徒の割合は増加傾向にあるなど、望ましい生活習慣が身に付いてきています。

さらに、地域や子供会などの行事に参加している児童生徒の割合も県平均を大きく上回っており、庄原市の子どもたちは、地域の多くの人との出会いの中で、さまざまな経験を重ねて育っていることが分かります。

市教育委員会では、今後も、学校・家庭・地域が連携した意図的な取り組みをさらに進めていきます。

母子保健

だより

B型肝炎予防接種が定期接種になりました

保健医療課医療予防係 ☎0824・73・1155

10月1日から、新たにB型肝炎予防接種が定期接種(法律で定められた予防接種)になりました。

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。このウイルスへの感染は、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合(この状態をキャリアといいますが)があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人では肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすこともありま

す。B型肝炎ワクチンによる予防は、キャリアになることを防ぎ、将来発生するかもしれない慢性肝炎・肝硬変・肝がんの発生を防ぐこととすることが最大の目的です。

※厚生労働省作成の資料から一部転載
※(公財)予防接種リサーチセンター「予防接種と子どもの健康 2016年度版」改訂部分から転載(一部改変)



■対象者
平成28年4月1日以降に出生した満1歳未満の子
※対象となる人には予防接種券などを送付しています。

■標準的な接種期間
生後2カ月から9カ月に至るまで

■接種回数
3回(1回目から27日以上の間隔をおいて2回目を接種、3回目は第1回目の注射から139日以上の間隔をおいて接種)

そのほか、予防接種に関してご不明な点がありましたら、ご相談ください。

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824・72・0110

「点ける広島県」
「ピカピカ作戦」展開中!

例年秋口からは、暗くなる時間帯と交通量が多くなる帰宅時間帯とが重なるなどの理由から夕暮れ・夜間の交通事故が増加する傾向にあります。

夕暮れ・夜間の交通事故を分析すると、①車両のほとんどが下向きライト②自転車の半数が無灯火③歩行者のほとんどが反射材を未活用であり、発見の遅れが交通事故につながっている状況がうかがえます。

そこで広島県警察では、夕暮れ・夜間の交通事故防止を図るため、関係機関・団体と連携して、①車両の運転者に対する早めのライト点灯・上向きライトの励行、自転車・歩行者に対するLEDライト、反射材などの反射用品の積極的な活用を促進する運動を展開しています。

飲酒運転の根絶!

広島県内では飲酒に起因する交通事故が昨年と比べて増加しています。飲酒運転は故意の犯罪行為です。「ちよつとだけなら」「バレなければ」という気持ちを取り返しのつかない結果を招きます。飲酒運転は絶対に「しない・させない・許さない」を徹底しましょう。

庄原警察署管内の人傷交通事故件数

	H27年 9月末	H28年 9月末	増減数	H27年合計 (参考)
庄原市	55件 (1人)	32件 (0人)	▲23件 (▲1人)	72件 (2人)
広島県内 (参考)	7,912件 (69人)	7,098件 (58人)	▲814件 (▲11人)	11,152件 (95人)

※()内は死者数です。

アンダー100作戦実施中!

~目指せ日本一安全・安心な広島県の実現~
年間の交通事故死者数を90人以下に!

いちばんづくり課

カーブが縁で5組のカップルが誕生

しょうばら縁結び事業

しょうばら縁結び事業、庄原市カーブ応援隊で行く「真赤激！な縁結び」バスツアーを9月22日に開催し、男性19人、女性20人の合わせて39人が参加しました。

当日は朝から雨模様で、参加者は試合中止の不安を抱きつつ、朝9時にバスに乗り込



チャンスに盛り上がるスタンド

み庄原を出発。自己紹介やカーブ選手の背番号ビンゴゲームなどを楽しみなが球場へ向かいましたが、道中雨脚は強くなり、着した11時過ぎには雨も止み、好ゲームへの期待が高まりました。

到着した後は試合開始までの

時間を利用して、普段入ることができない屋内練習場の3階フロアを会場に、軽食を囲みながらカーブを話題に会話を弾ませました。

その後、参加者はライト側外野指定席へ移動し、待望の「広島東洋カーブ」対「阪神タイガース」を観戦。カーブの勝利を願う熱い声援を送りました。

結果は惜しくもカーブの敗戦となりましたが、このイベントを通じて5組のカップルが誕生し、次のステップへと期待が高まる結果となりました。

しょうばら縁結び事業では、会員を随時募集しています。詳しくは庄原市総合サービス株式会社（☎0824・75・0600）まで。

いちばんづくり課

空き家バンクで空き家活用と移住を促進！

新しいウェブサイトを開発



「しょうばら空き家バンク」のトップページ(<https://shobara-akiya.jp/>)

10月1日から、市内の空き家を活用して移住者の住居として紹介する「しょうばら空き家バンク」の新しいウェブサイトを開発しています。

新サイトは、地域や価格などの条件から物件を検索できたり、会員登録をすることで、物件を比較する機能を使うことができるなど、利便性が大幅に向上しています。

市は、このサイトを通して空き家活用と移住促進の取り組みを強化していきます。市外から移住される方が対象です。U・Iターンを検討されているご家族や知人にご紹介ください。また、活用可能な空き家をお持ちの方は、物件情報の登録をご検討ください。

健康広場

ウォーキングのススメ！

ウォーキングは、運動靴さえあれば手軽に行うことができる運動で健康効果も抜群です。この秋を「運動の秋！」にしませんか。



保健医療課 主任保健師

横山美和子

ウォーキングの健康効果

- ★肥満予防・改善
消費カロリーを増やし、余分な体脂肪を減らします。
- ★脂質異常症の予防・改善
血液中の脂肪が燃えやすくなるため、コレステロール値や中性脂肪値の改善につながります。
- ★血圧の安定
血行がよくなると、血圧が安定してきます。
- ★糖尿病の予防・改善
血糖コントロールがよくなって、血糖値が安定してきます。
- ★骨粗しょう症の予防
骨に適度な刺激を与えることでカルシウムが吸収されやすくなり、骨を強くします。
- ★脳の活性化
全身運動により、脳の血流もよくなるため、脳の活性化につながります。



1日どれだけ歩けばいいの？

個人差はありますが、10分間歩くとおよそ千歩だそうです。認知症や心疾患、脳卒中の予防には5千歩(約50分)、生活習慣病の予防には8千歩(約80分)歩くことが有効で、そのうち20分くらい速歩きできれば効果が期待できます。速歩きは1日の合計が20分になればよく、連続して行う必要はありません。いきなり無理をするのではなく、少しずつ歩数を増やしていきましょう。

参考：「いつまでもどこまでもながく歩く」監修/黒田恵美子 健康運動指導士

ウォーキングの姿勢5つのポイント

- 1 呼吸は大きく、一定のリズムで行う。
- 2 上体はまっすぐに。背筋を伸ばし、軽く胸を張り、姿勢よく歩く。
- 3 かかとから着地し、後方の足は親指で地面をけるように歩く。
- 4 肩の力、腕の力を抜いて、左右並行にやや後ろに意識して腕を振る。
- 5 歩幅は普通よりやや大きめに。進行方向に対して、足先をまっすぐ自然に振り出すことを意識する。

秋・冬のウォーキングで注意したいこと

これからの季節は気温が下がってきます。けがなどせずウォーキングが楽しめるようにしましょう。



◎ストレッチを念入りに
寒いと筋肉が硬くなりやすく、思わぬけがのもとになります。

◎防寒対策
頭・首・手首・足首が冷たい外気に触れると体温が下がるので、帽子や手袋・マフラー・レッグウォーマーなどを活用しましょう。薄めの服を重ね着し、体が温まってきたら1枚ずつ脱いで上手に調節しましょう。

◎水分補給
秋・冬は水分摂取量が少なくなるため、ウォーキング前後には意識して水分補給をしましょう。

◎足もと・足場
積雪や凍結で足場が悪くなる時期です。足場が悪い場所は避け、転倒に注意して歩きましょう。

危機管理課

秋の山岳事故を防ぐ

備北地区消防組合 山岳救助訓練



要救助者を運ぶ消防署員

10月5日、備北地区消防組合は、秋の登山シーズンを前に、庄原市本村町の「日本ピラミッド」葦嶽山で山岳救助訓練を実施しました。葦嶽山では、平成26年に2件の遭難事故が発生しています。多様化する山岳救助・遭難事故に対し、迅速かつ安全に対応するための山岳救助技術を習得することを目的に、今回の訓練を実施しました。

商工観光課

庄原市で働こう!

庄原市合同就職面接会 in 庄原



熱心に面接を受ける参加者

9月17日、庄原市ふれあいセンターコパリホールで三次公共職業安定所庄原出張所（ハローワーク庄原）と庄原市が「庄原市合同就職面接会 in 庄原」を開催しました。庄原市の人手不足解消につなげようと、8月の「合同就職面接会 in 東城」に続き、本年2回目となる面接会を企画し、庄原市で求人を行う企業など34社と、庄原市で働きたい求職者28人が参加しました。

生涯学習課

大舞台での活躍にエール

全国大会等出場者壮行式



出席者全員で記念撮影

スポーツ分野において、広島県代表として全国大会へ出場する選手の壮行式が9月29日、市役所本庁舎で行われ、出場者をはじめ関係者や家族などが出席しました。壮行式では、木山耕三市長と堀井秀昭市議会議長が激励のあいさつを行い、出場者に祝金と花束が贈られました。

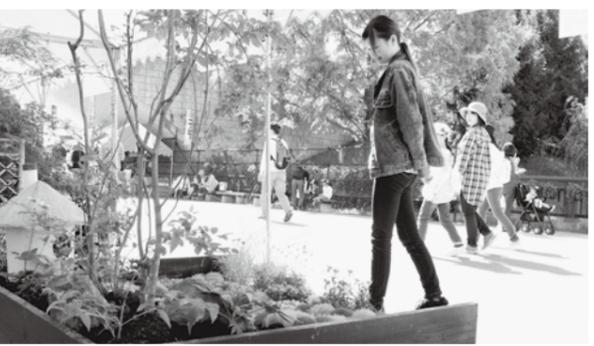
出場者（敬称略）

- 全日本杖道大会
 - 10月16日・岡山市
 - 杖道（初段の部）
 - 八谷 和樹（庄原中2年）
 - 杖道（二段の部）
 - 河原 敬太（庄原中3年）
 - 杖道（三段の部）
 - 河原里香子（板橋町）
 - 杖道（七段の部）
 - 小林 利吉（西本町）
- 国民体育大会
 - 10月2日〜4日・岩手県二戸郡
 - なぎなた
 - 福田さつき（春田町）
 - 足立 朱穂（川北町）
- 国民体育大会
 - 10月7日〜10日・宮古市
 - レスリング
 - 山中 彬（広島国泰寺高3年）

商工観光課

花と緑のまち庄原をPR

庄原さとやまガーデンフェスティバル2016 開催



ミニガーデン作品を眺める来場者

10月8日から10日の3日間、国営備北丘陵公園を会場に庄原観光いちばん協議会が「庄原さとやまガーデンフェスティバル2016」を開催しました。このイベントは、庄原市の花と緑の観光資源の魅力発信や認知度向上、中国やまなみ街道沿線観光施設と連携し広域周遊促進を図ることを目的としており、3日間で市内外から約2万5千人が来場しました。



コンテスト金賞作品「江戸の牡丹」(出展:日本庭園 由志園)

トも実施しました。その他、庄原市ふるさと大使であり世界的ガーデナーの石原和幸さんによるブーケパフォーマンスや、ステイジや、植物を暮らしに活用する各種講座、ガーデニング関連用品の物販などで会場はにぎわいました。また、8日からの「庄原さとやまオープンガーデン」の全22庭の公開開始にあわせ、同協議会では「お庭」のスタンプを集めて回る「ぐるっとSHOBARA花めぐりラリー」を実施。市内各種イベントとの相乗効果を図り、花と緑のまち・庄原を満喫できる3日間となりました。

商工観光課

バスツアーを開催!

庄原をめぐるグルメとガーデンツアー



庄原さとやまガーデンフェスティバルでブーケをもらう森本ケンタさん

10月1日から11月27日まで、「ドキドキときどき」比婆牛「メニュー」「ほっこり和みの「スイーツ」メニュー」と題して、「庄原ぐるめラリー」を行っています。10月8日には、タレントの森本ケンタさんと住本明日香さん、庄原市の逸品づくり事業「料理開発」コーディネーターの平山友美さんと行く、「庄原をめぐるグルメとガーデンツアー」が開催され、広島市内から72人の参加者が2台の大型バスで庄原を訪問しました。



比婆牛ステーキ〜ヒパゴンねぎのグリーンソース〜

スイーツを堪能しました。帰りに立ち寄った店では庄原の食材をたくさん購入し、バスの中では庄原の食材や料理の話が尽きませんでした。市内13店舗の庄原ぐるめラリー協賛店では、庄原の比婆牛をはじめ、豊かな自然が育む食材を使ったスイーツなどを提供しています。おいしい料理を味わってスタンプを3つ集めると抽選で豪華賞品が当たります。皆さんもぜひご参加ください。詳しくは庄原観光いちばん協議会（事務局商工観光課）☎0824・73・1179までお問い合わせください。



新そば解禁

第24回比和やまびこ祭・10/23

No.6

比和総合運動公園で、第24回比和やまびこ祭が開催されました。本年は、比和の新そば解禁と、赤く色づき始めた福田頭を併せて楽しめるようにと、例年より時期を少し遅らせて開催されました。会場はトライアルデモンストレーションや神園さやかさんの歌謡ショー、神楽などで盛り上がりしました。

この日から解禁となった、比和町で栽培された、もえぎ色が特長の「比和もえぎそば」を目当てに、県内外から多くの人々が訪れていました。「そば処みのり」の店主丸亀実朋さんによるそば打ちの実演もあり、来場者は、なかなか目にするのでできない職人の技と、香り豊かな新そばを味わい、感嘆の声をあげていました。



▲手際よくそばが盛り付けられた

牛の祭典 来て見て食べて

口和モーモー祭&庄原みのりの祭典' 21・10/8・9

No.8

口和総合運動公園で、2年に1度の第15回和牛の里口和モーモー祭2016と庄原みのりの祭典' 21が同時開催され、総勢約3万人が来場しました。

広場では牛が主役の大イベント「モーモー大行進」や「牛と子どもの綱引き」が、ステージでは地元の芸能や出し物、水森かおりさんや田川寿美さんの「歌謡ショー」などが盛大に行われました。広島県産黒毛和牛の炭火焼コーナーも家族連れなどであふれ、地元の特産品即売ブースなどにも長い行列ができました。今回は比婆牛を活用したメニューを販売する比婆牛サミットも初めて行われ、来場者は比婆牛を満喫しました。

また、みのりの祭典コーナーでも各種の産物が販売され、大勢の人でにぎわっていました。



▲牛と子どもの綱引きに臨むひらしげもんた号

廃校舎を新たな価値へ

廃校リノベーション第1回ワークショップ・10/1

No.5

西城町の旧小鳥原小学校で、県内の中山間地域を舞台に来年3月に開幕予定の「ひろしまさとやま未来博2017」のシンボルプロジェクトとして実施する「廃校リノベーション(※)」の第1回ワークショップが開催されました。サポーターとして応募した県内の大学生・社会人23人と八銚自治振興区から9人が参加し、旧校舎を見学した後、改修イメージや活用法についてアイデアを出し合いました。参加者からは、「今ある自然を取り入れたい」「農業体験の拠点にしたい」などさまざまな意見が出されました。

※賛同するサポーターと地域が協働して改修計画をつくり、地域実情に合わせて廃校を再生させていくものです。



▲いろいろな世代や職種の人がアイデアを出し合った

東城の秋を味わう

第34回ふれあい東城まつり・10/15~16

No.7

第34回ふれあい東城まつりが東城小学校グラウンドをメイン会場に開催され、約5,000人の来場者でにぎわいました。

1日目は、東城文化ホールで「ふれあいステージ」が開催され、芸能・文化など地域の方や団体が出演しました。2日目は、東城の秋がたくさん詰まった創作汁を存分に味わえる、新企画「Oh!汁グランプリ」をはじめ、佐々木リョウさん・高山秋子さんのライブステージ、自治振興区対抗丸太切り競争、ちびっこ相撲、比婆荒神神楽子ども神楽塾の舞いなど盛りだくさんの内容でした。そのほか、健康チェックなどができる「健康ひろば」や展示ひろば、けん玉体験コーナーが各会場に開設され、来場者は思い思いの場所で楽しんでいました。



▲「Oh!汁グランプリ」で大賞をとった「志村園長's」(写真中央)

子どもも大人も記録に挑戦

水夢フェスティバル水泳大会・10/2

No.2

西城温水プール「水夢」で、第13回水夢フェスティバル水泳大会が開催されました。総勢144人もの申し込みとなり、幼児から大人まで日ごろの泳ぎの成果を競い合いました。

屋外の芝生広場では、地元の団体によるそば、ねぎ塩焼きそば、比婆牛おこわなどのバザーもあり、大会後にはお楽しみ抽選会も行われました。大会参加者や応援に来たギャラリーは西城の美味しい食材に舌鼓を打ち、催しを楽しんでいました。

当日は、初出場の選手や自己ベストの記録が出た選手もあり、会場は種目ごとに大きな声援で盛り上がりしました。



▲選手は声援を受けて水をかいた

芸術で子どもたちの心を育む

本物の舞台芸術体験事業・9/30

No.4

庄原市民会館で劇団東少のミュージカル「眠れる森の美女」の演劇鑑賞会が開催されました。本物の舞台芸術体験事業は、次代を担う子どもたちに、本物の舞台芸術に接する機会を提供し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うために行う事業で、市民会館で毎年度、市内小学5・6年生を対象に行っています。本年度は、市内小学校17校の児童や引率教員541人が、華やかで楽しいミュージカルを鑑賞しました。

「眠れる森の美女」は、わがままで思いやりのない娘に育った王女が、100年間の眠りの中で素晴らしい夢を見て反省し、美しい心に目覚めるといった感動的な作品で、子どもたちに、人に対して思いやりの心や優しい心を持つことの大切さが伝わった公演でした。



▲ミュージカル「眠れる森の美女」

スポーツを活用した地域づくり

総領グラウンド・ゴルフ大会・10/1

No.1

田総の里スポーツ公園グラウンド・ゴルフ場で、総領節分草スポーツクラブ主催による総領グラウンド・ゴルフ大会が開催され、28人が参加しました。

総領節分草スポーツクラブは、総領地域の体育施設を活用して地域住民にスポーツに親しむ場を提供することなどを目的に、本年2月に設立された地域住民主体で運営する総合型地域スポーツクラブです。

当日は、小雨が降る中、ホールインワンが続出する熱戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりしました。

同クラブの延清圭祐理事長は「これからも、地域住民同士の交流や健康づくりにつながる、特色あるスポーツイベントを開催したい」と話していました。



▲小雨の中熱戦が繰り広げられた

音楽を通じて人権を学ぶ

音楽人権教室・10/11

No.3

三次地域人権啓発ネットワーク協議会主催の「音楽人権教室」が高野中学校で開催されました。この教室は、生演奏の音楽や講話を聞くことで、音楽の持つ力を実感するとともに人権について考え、仲間と協調することなどについて学ぶことを目的としています。

当日は高野中学校全校生徒と高野小学校5・6年生の児童が参加し、マイ・ハート弦楽四重奏団の沖田孝司さんと沖田千春さんによるピオラとピアノの演奏や、人権に関する講話を熱心に聞いていました。

参加した高野中学校生徒は「この教室を通じて人権が身近に感じられた。支えあいの大切さや、ひとつの物事をいろいろな角度から見る必要があることを学べた」と話していました。



▲ピオラとピアノ演奏を聴く児童・生徒

悩みごと、心配ごと、お困りごとなど、お気軽にご相談を

あなたの相談をお受けします

各種相談	とき	ところ	備考	問い合わせ
定期巡回相談	庄原 12月15日(休)10時～16時	庄原市ふれあいセンター	広島県北部子ども家庭センターによる相談。1週間前までに予約。	児童福祉課あんしん支援係 ☎0824-73-0051 東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	東城 12月8日(休)10時～16時	東城支所		
人権相談	庄原 12月6日(火)・20日(火) 13時30分～16時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	三次人権擁護委員協議会 ☎0824-62-2572
	西城 12月8日(休)13時30分～16時30分	西城自治振興センター		
	東城 12月1日(休)13時30分～15時30分	東城ふれあいセンター		
	口和 12月1日(休)13時30分～16時	口和自治振興センター		
	高野 12月13日(火)13時～15時	高野支所		
	比和 12月1日(休)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領 12月14日(休)9時～11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原 12月15日(休)13時～15時30分	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154 西城支所市民生活係 ☎0824-82-2124 高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115 比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001 総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
	西城 12月15日(休)13時30分～15時30分	西城支所		
	高野 12月13日(火)13時～15時	高野支所		
	比和 12月1日(休)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領 12月14日(休)9時～11時	総領保健福祉センター		
法律相談	庄原 12月9日(金)13時～16時	庄原市ふれあいセンター	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	西城 11月25日(金)13時～16時	西城自治振興センター		
生活安全相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～15時45分	市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244 東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
		東城支所市民生活係		
家庭児童相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～15時45分	児童福祉課あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
消費生活相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時	市民生活課市民生活係内庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
学校での体罰・ハラスメント相談	随時	教育指導課学事係(各学校でも受け付け)	プライバシーの保護、秘密保持を徹底します。	教育指導課学事係 ☎0824-73-1183
認知症カフェ	庄原 「とんぼ」 12月6日(火)・20日(火) 13時30分～15時	庄原ショッピングセンタージョイフル2階	相談・情報交換 参加費1000円	高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎0824-73-1165
	東城 「おれんじカフェ・ええ塩梅」 11月22日(火)13時30分～15時	東城支所	相談・情報交換 参加費1000円	東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
障害者相談員定期相談会	庄原 12月12日(月)13時30分～16時30分	庄原市ふれあいセンター	身体	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
	比和 12月6日(火)9時30分～12時	比和ふれあいセンター	身体・知的	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
身体障害者補装具判定会	【聴覚】12月15日(休)13時～14時	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210

※日程は都合により変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

母子保健事業 ●保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255				
事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子手帳交付	11月21日(月)、12月5日(月)・19日(月) 9時～17時	保健医療課	特になし	支所は随時(事前連絡必要)
育児相談	12月13日(火)10時～12時	庄原ひだまり広場 (JR備後庄原駅舎内)	母子健康手帳	支所でも実施(詳細はお問い合わせください)

相談

全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間

夫・パートナーからの暴力、職場での差別やセクシュアルハラスメント、ストーカーなどの女性の権利問題は、依然として数多く発生しています。広島法務局および広島県人権擁護委員連合会では、これらの女性をめぐるとさまざまな人権問題の解決を図るための相談活動を強化することとし、11月14日(月)からの1週間を全国一斉「女性の権利ホットライン」強化週間として、常時開設している専用相談電話の回線を増設するとともに、受付時間を延長して対応します。

【女性の権利ホットライン】

☎0570・070・810 (IP電話からは☎082・228・4822)

実施期間

11月14日(月)～20日(日)

受付時間

8時30分～19時
※土・日曜日は10時～17時
※強化週間以外は、平日の8時30分～17時15分に受け付けます。

催し

県立広島大学市民公開講座の第4回を中止します

広報しようばら10月号でお知らせした当講座の第4回講座「思い込んでしまったストレスを取り除いて運動しよう」(11月25日(金))は、都合により中止します。楽しみにしておられた皆さんには大変ご迷惑をお掛けします。なお、第1回～第3回講座は、当初の予定どおり実施します。ぜひご参加ください。

申し込み・問い合わせ

生涯学習課社会教育係
☎0824・73・1188
FAX0824・73・1254

庄原市中学校合唱コンクール

中学校ごとに課題曲と自由曲を合唱します。美しいハーモニーをお聞きください。

とき

11月15日(火) 13時15分～16時

ところ

庄原市民会館

内容

▼13時35分～14時25分
①総領②口和③高野④比和
▼14時40分～15時20分
⑤庄原⑥東城⑦西城
※番号の順に合唱します。

問い合わせ

教育指導課指導係
☎0824・73・1184

庄原さくら学園 学園祭

第37回学園祭のテーマは「こころふれあう学園祭」です。たくさんの方と出会えるのを楽しみにしています。ぜひお越しください。

とき 11月23日(水・祝) 10時～15時

ところ

庄原さくら学園グラウンド

内容

神楽・太鼓・ダンスなどのアトラクション・飲食コーナー・ゲームコーナーなど

問い合わせ

庄原さくら学園
☎0824・72・0884

民泊地域講演会

本年度、庄原市さとやま体験交流協議会では初めて体験型教育旅行の受け入れを行いました。これを契機に、来年度は東京都立新宿高校の生徒320人をはじめ、関東の3つの学校の生徒たちが相次いで訪れることが決まっています。市は今後も広大な自然を

超えて



講師プロフィール

1994年来日後、日本でただ1人のチベットの音楽や文化を紹介するため、全国的に講演会やコンサート活動を行っています。ユーモアたっぷりの語り口で、日本とチベットの文化の違い、家族のあり方などを論じる講演も多くの人々の感動と共感を呼び、教育関係、企業、学校などからも高い評価を得て、テレビ、ラジオで度々紹介されています。

故郷の子どもたちに教育を！と始めたチベットの学校建設活動も大きな成果をあげ、今では小学校9校と中学校1校が開校し、日本とチベットの子ども同士の交流も積極的に行っています。また現地の大学4校に奨学金を設立し、経済的に苦しい大学生への支援も続けています。

問い合わせ

東城支所市民生活室
☎08477・2・5121

平成28年度自衛官採用試験

募集項目	応募資格	受付期間	試験期日
自衛官候補生 男子	18歳以上27歳未満	随時	受け付け時にお知らせします

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集 (特別職国家公務員)

※生徒手当 (月額) 98,500 円、期末手当 2 回

募集項目	応募資格	受付期間	試験期日
高等工科学校生徒 (男子)【推薦】	中卒(見込み含む) 17歳未満	11月1日(火) ~12月2日(金)	平成29年1月7日(土)~9日(月・祝)の いずれか1日を指定
高等工科学校生徒 (男子)【一般】	中卒(見込み含む) 17歳未満	11月1日(火) ~平成29年1月6日(金)	1次:平成29年1月21日(土) 2次:平成29年2月2日(木)~5日(日)

※待遇、給与など詳しくは、自衛隊広島地方協力本部ホームページをご覧ください。
三次地域事務所 ☎0824-62-0350) にお問い合わせください。

公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム広島セッション 市町村公演事業

ピエール弦楽四重奏団
弦楽四重奏の名曲で巡る
ヨーロッパ紀行

とき 12月3日(土) 14時開演 (13時30分開場)

ところ 庄原市民会館

入場料 一般 500円 全席自由

※今回は市民会館友の会の割引はありません。

※小中高校生は無料です。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※無料の託児サービスをご利用ください。(要予約)

前売り券販売所

庄原市民会館、ジョイフル、ザ・ビッグ庄原店、食彩館しよ
うばらゆめさくら、ウイル西城、東城自治振興センター

問い合わせ 庄原市民会館 ☎0824-72-4242

生涯学習課社会教育係 ☎0824-73-1188



出演 ピエール弦楽四重奏団
伊師裕人を中心に今回のアウトリーチフォーラム
のために結成されたアンサンブルで、ピエールという
のはフランス語で「石」を意味する pierre (ピエール)
をもじったもので、磨いて光る原石のように、今後
の発展を願って名付けました。

演奏曲目
モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジークより
第1楽章
プッチーニ: 菊
スメタナ: 弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調「我が生涯より」
より 第2楽章
ドビュッシー: 弦楽四重奏曲より 第2楽章
シベリウス: アンダンテ・フェスティヴァーヴォ
ショスタコーヴィチ: 弦楽四重奏曲 第3番 ヘ長調 作品
73より 第3楽章
シューマン: 弦楽四重奏曲 第3番 イ長調 作品 41-3
*都合により、演奏曲目を変更することがあります。

【アウトリーチフォーラム事業とは】

地域における芸術活動を担
う人材の育成および環境づくりのた
め、公共ホールなどを拠点とした、クラシック
音楽の演奏家による地域交流プログラムに関する
事業で、オーディションによって選ばれたクラシック
音楽の若手演奏家が、庄原市に滞在して、学校や地域にで
かけ生の音楽を身近に感じてもらうながら市民と交流を
図る事業として実施します。

庄原市人権講演会

「外国人の人権」をテーマ
に、ダニエル・カールさんを
招いて開催します。講演に先
立ち、18時30分から「人権作
品表彰式」を開催するほか、
会場ロビーで人権作品の展示
を行います。ぜひご来場くだ
さい。

とき 12月8日(木)
19時~20時30分

ところ

庄原市民会館大ホール

講師

ダニエル・カールさん(タレ
ント)



演題

「周りの人や社会への思いや
り」国や人種が違ってても」
※手話通訳・要約筆記による
案内もあります。

※託児を希望される方は、12
月1日(木)までにお申し込みく
ださい。

問い合わせ

市民生活課市民生活係

☎0824-73-1154

おいしい庄原フェア開催

中国山地のてっぺんで育ん
だおいしい食材をたっぷり
使った料理を提供する「おい
しい庄原フェア」をリーガル
イヤルホテル広島島の飲食店2
店舗で開催します。庄原の秋
の爽りを、優雅にホテルで味
わうことができます。ぜひ、
一度訪れてみてください。

とき

11月7日(月)~23日(水・祝)

ところ

リーガルイヤルホテル広島

「日本料理なこわ」

「居酒屋 酒仙」

問い合わせ

庄原観光いちばん協議会事務
局(庄原市商工観光課内)

☎0824-73-1179

リーガルイヤルホテル広島

☎082-502-1121

広島県退職校長会
庄原支部 第14回作品展

書・絵画・陶芸・工芸・手芸・
写真・盆栽・文芸などを展示。

とき

11月29日(火) 13時~17時

11月30日(水) 10時~17時

12月1日(木) 10時~16時

ところ 田園文化センター

問い合わせ

田園文化センター

その他

家屋の取り壊しや新築、
土地の地目変更の届け出
を!

固定資産税は、その年の1
月1日時点で、固定資産(土地、
家屋、償却資産)を所有して
いる方に課税されます。

取り壊しや、り災などによ
り、家屋が滅失した場合には、
「家屋異動申告書」を税務課ま
たは最寄りの支所地域振興室・
市民生活室に提出してください。
申告書は税務課および各
支所に備え付けています。

取り壊しまたは滅失した家
屋の固定資産税は、翌年度か
ら課税されません。ただし、
土地に適用されている「住宅
用地に対する特例」が適用さ
れなくなるため、税額が上
がる場合があります。

「家屋を新築・増築した」土
地の利用状況が変わった」な
ど、現況に変更があった場合
は、届け出をお願いします。
課税内容について、疑問が
あればお尋ねください。

問い合わせ

広島県退職校長会庄原支部長
和田匡弘
☎08477-4-0592

税務課資産税係
☎0824-73-1144

広島県民手帳を販売

平成29年版広島県民手帳を
市役所本庁の窓口と各支所で
販売します。県民手帳は官公
庁の連絡先や統計資料、生活
情報などが収録されているほ
か、県内文化施設の割引パス

ポルトも付いています。デス
ク版には高野町で撮影された
「広島県雪合戦大会」のカラー
写真が掲載されています。ぜ
ひお買い求めください。

価格

ポケット版 630円

デスク版 1200円

問い合わせ

行政管理課広報統計係

☎0824-73-1159

奨学金制度説明会

市教育委員会は、学習に意欲がありながら経済的な理由などにより
修学が困難な生徒や学生に対して、奨学金制度を設け修学の支援
を行っています。この制度の説明会を次のとおり開催しますので、
平成29年度での利用を検討している方はご参加ください。(どの会
場でも参加できます。予約などは不要です。)

地域	とき	ところ
比和地域	12月2日(金)19時~	比和支所1階会議室
高野地域	12月6日(火)19時~	高野支所1階会議室
口和地域	12月7日(水)19時~	口和支所1階オープンスペース
総領地域	12月7日(水)19時~	総領支所2階第1会議室
東城地域	12月8日(木)19時~	東城支所2階庁議室
西城地域	12月9日(金)19時~	西城支所2階大会議室
庄原地域	12月12日(月)19時~	ふれあいセンター1階小会議室

問い合わせ

教育総務課総務係 ☎0824-73-1182

または各支所教育室

人の動き（庄原市の人口）
平成28年9月末現在

【住民基本台帳登録人口】
人口 37,065人（前年比-677人）
男 17,565人（前年比-286人）
女 19,500人（前年比-391人）
世帯数 15,829世帯（前年比-45世帯）
【うち外国人】人口 343人（前年比+6人）

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

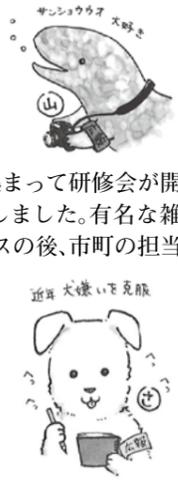
手続きは各金融機関の窓口でお願いします。残高確認も忘れないでください。
●債権収納課 ☎0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●水道課業務係 ☎0824-73-1197

休日診療のご案内

11月・12月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
☎診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）
●東城地域

11月20日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
23日(水)	三上クリニック	☎08477-2-1151
27日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
12月4日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
11日(日)	細川医院	☎08477-2-0054
18日(日)	東城病院	☎08477-2-2150

広報日記
▶大相撲庄原場所が盛大に開催されました。まさに「満員御礼」の状態、庄原市総合体育館アリーナは、力士と来場者などでいっぱいでした。間近でみる力士は迫力があり、ちびっこ相撲をした口北小学校の児童はヒョイと持ち上げられたりしながら、楽しそうに相撲を取っていました。
金藤選手のオープンカーでのパレードは、絶好の天気、約8千人の人が沿道に並ばれたとのこと。庄原中学校吹奏楽部の皆さんの演奏もあり、とても華やかでした。
▶先日、県内市町の広報担当者が集まって研修会が開催され、@さんと私の2人で受講しました。有名な雑誌の編集長による講義やアドバイスの後、市町の担当者で意見交換会をしました。そこで「編集後記はよく読まれている」「担当者の似顔絵などのイラストを入れると受けが良い」などの話を聞きました。今回はスペースもあるので似顔絵（イメージ）を描いてみましたが、いかがでしょうか。



食育コーナー
圃教育指導課 ☎0824-73-1184

「弁当の日」の取り組み



近年、食生活を取り巻く社会環境の変化などに伴い、子どもたちの健康に関して気になることがあります。例えば、偏った栄養摂取や食生活の乱れによる肥満や、過度にやせていることなどです。
生涯にわたって健全な食生活を実践する力を子どもたちが身に付けるためにも、成長期の子どもの「食」について話をしたり、一緒に調理をしたりして、「食」への関心を高めていきましょう。
市教育委員会は、平成27年度から「弁当の日」の取り組みを進めています。
各小中学校で、遠足・社会見学などの学校行事の日や参観日などを「弁当の日」と設定し、子どもたちが家族と一緒に調理したり、弁当の献立を自分で考えたりするなど、学校や地域の実態に応じて取り組んでいます。学校では、栄養教諭や栄養士が、事前に弁当作りのポイントを指導したり、授業の中でバランスのとれた食について指導したりしています。
この取り組みを通して、子どもたちが「食材への感謝の心」「地域食材を知る機会」「家族への感謝の心」「家族の愛情」を感じてくれることを願っています。家庭でのご理解ご協力をお願いします。

★庄原市学校栄養士連絡協議会では「庄原いちばん弁当の日レシピ集」を作成しています。
庄原市ホームページ「庄原市教育委員会」からチェック！
<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/sightseeing/schooling/>

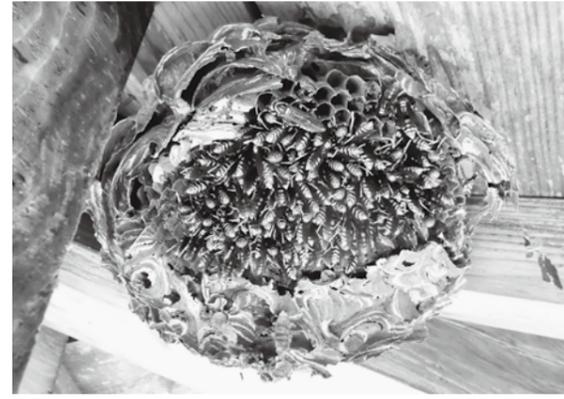
↑このコードからレシピ集のPDFファイルを見ることができます

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？
あなたの不安な気持ちをお話ください。
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》
庄原市役所児童福祉課あんしん支援係
☎0824-73-1243 【月～金 9時～17時（年末年始・祝日除く）】

広島県西部 こども家庭センター	☎082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎082-254-0399	月～金 10時～17時 月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部 こども家庭センター	☎0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10時～17時

比和自然科学博物館 ☎0824-85-3005
開館：9時～17時（年末年始休館）

**ハチシリーズ(4)
はいそう
スズメバチの廃巢を利用するもの**



スズメバチやアシナガバチは、毎年女王蜂が一匹で巣作りを始め、働き蜂が生まれてくると巣は急に成長します。そして秋の終わりには、ことし活躍したハチたちは全て死んでしまい、来年の女王蜂（新女王）だけが越冬するのですが、自分の巣の中ではなく別の場所で越冬します。
昨年2月、きれいな形で残っていたスズメバチの巣を採取し、標本にしようとニスを吹きかけていたところ、中からいるはずのないハチが出てきました。調べてみるとこれはアシナガバチの新女王で、スズメバチの廃巢を越冬のために利用していることが分かりました。興味が出て、さらに古い巣を見つけて採取していると下半分が落ちてしまい、写真のように大量のアシナガバチが姿を現したのです。
出てきたのは、キアシナガバチ220匹、セグロアシナガバチ19匹、オオヘリカメムシ4匹、クサギカメムシ8匹、ハエ176匹。そして土で作られたモンキジガバチの巣もありました。アシナガバチは木の割れ目や石の隙間などで越冬することが知られていますが、これを見ると越冬のためスズメバチの廃巢も利用しているのではないかと考えられます。
軒下にあるスズメバチの巣は、雨に濡れないので乾燥しており病気の発生も無く、厚い外皮に覆われて温かいため、昆虫たちの越冬には最適の場所といえるのかもしれませんが、軒下に残されたスズメバチの廃巢を再びスズメバチが使うことは絶対にありませんので、冬の間昆虫の観察などをしてほしい方は廃巢を残しておきましょう。

しょうばら九日市
毎月9日は、しょうばら九日市
★12月

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局
☎0824-72-8285 まで

とき 12月9日(金) 9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>

**市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX**（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。
わら細工作品展
とき 12月8日(木)～10日(土) 10時～16時
圃庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

**食彩館しょうばら
ゆめさくら** ☎0824-75-4411

11～12月のイベント情報
▶ゆめさくら講座
○草木染め教室
「くるとカテキューでウールニットマフラーを染めよう」
※カテキュー…アカシアなどの樹皮のエキス

とき 11月28日(月)
①9時～12時 ②13時30分～15時30分
参加費 4,900円
定員 ①②各12人
○草木染め教室「未定」
とき 12月12日(月)
①9時～12時 ②13時30分～15時30分
参加費 4,900円
定員 ①②各12人
▶展示&販売
○庄原実業高校アグリカンパニー
庄原実業高校の生徒の皆さんの手作り商品を展示・販売します。
とき 12月10日(土) 10時～15時

ロビーコンサート
圃生涯学習課 ☎0824-73-1188

とき 11月28日(月) 12時15分～55分
ところ 市役所1階市民ホール
出演者 Pavel FOLTYN（フルート）
三古 美智子（ピアノ）
演奏曲目 エルガー／愛の挨拶 作品12、ビゼー／メヌエット「アルルの女 第2組曲より」ほか
▶Pavel FOLTYN…チェコ出身。8歳からフルートを始め、オストラヴァ音楽院を経てヤナーチェク音楽大学を卒業。1981年「プラハの春」国際コンクール入賞をはじめ数カ国のコンクールで入賞。日本ではNHK・ベストオブクラシックなどにも出演。チェコ・フィルハーモニー、プラハ交響楽団首席奏者を経て、現在群馬交響楽団第一フルート奏者。
▶三古 美智子…国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。西日本新人演奏会などに出演。県内のコンサートホールなどで、リサイタルやコンサートを行うなど幅広く活躍中。

みんなで乗ろうや 芸備線



VOL.27

キハ40と芸備線

今回備後庄原駅で撮影されたキハ40型気動車は、現在の定期運用では三次～広島間でしか見ることができない車両です。この日はイベント用貸切列車として特別に備後庄原駅まで入線しました。

国鉄時代の昭和52年から製造された形式で、国鉄型らしい容姿を備えており、かつての芸備線の情景を思い起こさせてくれます。また庄原を走る日が来るのでしょうか。



▲備後庄原駅に停車する貸し切り列車キハ40（平成28年7月29日撮影）

庄原市観光協会主催の「芸備線に乗って、カープ応援へGO!」に参加しました。

懐かしいオレンジ色の貸し切り列車キハ40に、手作りのエンブレムを取り付けます。

参加者のほぼ全員の「芸備線に乗るんは久しぶりじゃねえ」と言う言葉に、芸備線応援団を自認する私は一人でニンマリ。

三次駅では、快速列車との接続作業を見学した子どもたちの眼が輝いていました。列車内では、カープグッズが全員に当たるクイズやじゃんけんをして大盛り上がり。あつという間に広島駅に到着しました。

横浜ベイスターズとの試合は大敗しましたが、芸備線の小さな旅に大満足の日でした。

福光 延元（三門市町）

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真と説明文（100文字程度）乗車体験記（200字程度）を郵送またはメールでお送りください。

応募先

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市行政管理課広報統計係
☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.lg.jp

広報しょうばらにあなたの写真を載せてみませんか？



写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景の写真に、思いや撮影エピソードなど（200字程度）を添えてご応募ください。



3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真（データも可）に、名前（ふりがな）・生年月日・性別・連絡先・お子さんへのメッセージを添えてご応募ください。2ページ「もくじ」下に掲載しています。

みんなで乗ろうや芸備線

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたいくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真に説明文（100字程度）乗車体験記（200字程度）を添えてご応募ください。

すべての送付先はこちら

庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市行政管理課広報統計係
☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.lg.jp